



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」の推進



話し合いの基本 ルールを学ぼう

令和7年度がスタートして、早くも5月中旬です。初夏を思わせる暑い日も続いています。1年生の皆さん、道志中での生活には慣れましたか。今週末、校外学習があります。2年生の皆さん、今月末、横浜への宿泊学習を控えています。3年生の皆さん、最上級生として張り切っていますね。

それぞれの学年で、それぞれ一人一人が目標を定め、充実した一日一日を過ごしていることと思います。

さて、先週、第1回生徒総会を行いました。活動の柱やスローガン、委員会や部活動等の提案がありました。「より良いものにしたい」という、皆さんの気持ちが表れていました。準備をしてくれた皆さん、ありがとうございました。

生徒会は、生徒のためにある組織です。会員が一同に集まり、話し合いを行う。これは、民主的な話し合いの基本ルールです。皆さんは、今回、このルールに従い、生徒総会を運営しました。大切なことは、“生徒会があなたのために何をしてくれるのかを考えるのではなく、ここにいる皆さん一人一人が生徒会のために何を成すことができるのか”を考えることです。

まずは100人の1歩

例えるなら“1人の人が100歩進むのではなく、100人の人がまず1歩を踏み出すこと”が大切です。同じ100歩でも、1人の100歩と100人の1歩とは、意味合いが違ってきます。今回の総会では、“その1歩”を、皆さん一人一人が踏み出そうとする場面を創ってくれました。

ぜひ、皆さんの力を結集して、自分たちで、さらに

充実させるための活動の実行をお願いします。皆さんの活躍に期待しています。

第51回若鮎祭の行方

来月には、生徒会最大行事の学園祭(本校では“若鮎祭”といいます)が始まります。今年度は、2部制(6月7日(土):体育の部、9月13日(土):文化の部)です。

保護者の皆さまへ 詳細については、後日改めてお伝えいたします。現在、生徒は、体育の部に向けて、その企画・検討を始めています。今から楽しみです。

ところで、中学校では様々な教育活動を行っています。一般的には、国語、社会、数

学といった教科が学習の中心だと思われていますが、学級活動、総合的な学習の時間、特別の教科道徳もあります。

また、将来、一人前の社会人としての常識を身につけ、社会に貢献できる基礎・基本も学んでいます。これを自立的活動ともいい、生徒会活動は、その中心で、“自分たちの生活を、自分たちの手で、よりよいものにしていこう”ことがねらいです。生徒総会や学園祭は、その活動の延長にあります。

では、“生徒会役員としての苦勞”とは何でしょうか。それは“人をまとめる”ということです。結果を残すことも必要ですが、その取組過程において、意見を出し合い、考え、協力し、1つの目標に向かって、みんなをまとめ、新しい文化を創りあげていくことが大切です。そこに至るまでの道のり(過程)が大変で、歴代の生徒会役員の皆さんは、その苦勞を経験してきたはずです。今年度も加藤生徒会長を中心に、一丸となり、頑張っています。道志中の良き伝統を守りながら、さらに発展させる活動を展開してくれています。

